

Ⅲ 文化的景觀価値調査報告書目次一覽

1 市町村による文化的景観価値調査報告書（平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月刊行）

※ 価値調査報告書及び保存計画書が合冊となった報告書については、価値調査報告部分の目次のみ掲載した。

一関の重要文化的景観 一本寺の農村景観― 村落調査報告書

刊行年月 平成 25 年 12 月
刊 行 一関市博物館

目 次

はじめに
第 1 章 本寺の宗教的景観
第 2 章 本寺の屋敷
第 3 章 本寺の水田と畑
第 4 章 景観の変遷
おわりに

第 1 節 長井の治水
第 2 節 長井の利水
第 3 節 縦横に巡る水路網と長井の水利用
の特性

第 6 章 歴史的建築物が織りなす文化的景観
第 7 章 人々の祈りと文化

第 1 節 商人たちの祈り
第 2 節 地域文化の継承

第 8 章 景観認知
第 1 節 景観認知の状況
第 2 節 市民の意識
第 3 節 文化的景観の保存のために

第 9 章 価値の分析
第 1 節 文化的景観の構造及び特性

長井の文化的景観調査報告書

刊行年月 平成 27 年 3 月
刊 行 長井市教育委員会

目 次

長井市の概要
第 1 章 自然的特性
第 1 節 地理的特性
第 2 節 自然的特性
第 3 節 扇状地と河岸段丘上に開かれた土地
第 2 章 歴史的特性
第 1 節 歴史的概観
第 2 節 町場の成り立ち
第 3 章 産業経済
第 1 節 経済社会的特性
第 2 節 養蚕業・緋・紬・青苧栽培
第 4 章 流通・往来
第 1 節 最上川舟運
第 2 節 町場のにぎわい
第 5 章 水の流れを活かす文化

葛飾・柴又地域文化的景観調査報告書

刊行年月 平成 27 年 3 月
刊 行 柴又地域文化的景観調査委員会
葛飾区教育委員会
編 集 東京大学大学院工学系研究科建築
学専攻伊藤毅研究室

目 次

序章
第 1 章 調査の目的と概要
第 1 節 調査の目的と体制
第 2 節 調査の経緯と報告書の構成
第 2 章 柴又の景観形成の基本的要因
第 1 節 自然環境
第 2 節 歴史的環境
第 3 節 生活・生業・産業
第 3 章 柴又の景観認識
第 1 節 近世史料に描かれた行楽地・柴又
第 2 節 絵画・文学に見る柴又の景観イメージ
第 4 章 帝釈天題経寺の文化的景観
第 1 節 帝釈天題経寺の歴史・文化資源

	2 節	建造物と境内空間
	3 節	帝釈堂内部の装飾彫刻
	4 節	参拝客と境内空間
第 5 章		帝釈天門前の文化的景観
	1 節	門前の形成
	2 節	門前の現況
第 6 章		低地のなかの微高地がおりなす文化的景観
	1 節	宅地
	2 節	柴又用水
	3 節	道路・道路網
	4 節	堤のある風景
	5 節	柴又界隈の文化的諸相
第 7 章		柴又の文化的景観の特質と価値
	1 節	文化的景観の特質
	2 節	文化的景観の価値
結章		
補論		
	補論 1	葛飾柴又帝釈天参道を寅さんと歩く
	補論 2	「男はつらいよ」にみる柴又
付録		

佐渡相川の鉾山都市景観保存調査報告書

刊行年月	平成 27 年 3 月
刊 行	佐渡市世界遺産推進課
編集協力	(独) 国立文化財機構 奈良文化財研究所 文化遺産部景観研究室

目 次

第 1 章	調査の目的と概要
	第 1 節 調査の目的・経緯及び対象地域概要
	第 2 節 調査体制及び報告書の構成
	第 3 節 調査検討過程
	第 4 節 本書で使用する語
第 2 章	相川を育んだ自然的・文化的・社会的基盤
	第 1 節 相川の自然的基盤
	第 2 節 相川金銀山の鉾脈
	第 3 節 相川の景観を育んだ植物
	第 4 節 物流・往来・人口変動が生み出した相川

	第 5 節	小結
第 3 章		鉾山都市相川の歴史と文化
	第 1 節	相川の形成史と社会像
	第 2 節	相川的生活文化と地域文化
	第 3 節	小結
第 4 章		鉾山都市相川の土地利用と空間の関係性
	第 1 節	近世・近代における土地利用
	第 2 節	海成段丘部における水田開発と薪炭林利用
	第 3 節	鉾山・町場・村方の相互関係性
	第 4 節	小結
第 5 章		鉾山都市相川の構造と変遷
	第 1 節	相川の都市形成と変遷
	第 2 節	相川の都市構造
	第 3 節	小結
第 6 章		相川に育まれた町並みと建物
	第 1 節	町並みと家屋の現在
	第 2 節	伝統的家屋と寺社建造物
	第 3 節	小結
第 7 章		佐渡相川の鉾山都市景観の本質的価値
	第 1 節	自然・歴史・生活及び生業の特性
	第 2 節	景観単位
	第 3 節	景観構成要素
	第 4 節	佐渡相川の鉾山都市景観の本質的価値

佐渡相川の鉾山都市景観 歴史を積み重ねた建物意匠集

刊行年月	平成 26 年 3 月
刊 行	佐渡市世界遺産推進課
編集協力	京都府立大学大学院生命環境科学研究科史的住環境学研究室（大場研究室）

目 次

I	相川の鉾山都市景観
	1 町並みと建物
	2 相川の文化的景観
	3 冊子の構成と位置づけ
II	鉾山都市の町場
	1 町並みを支える土地

2 町並みをつくる建物

3 うつり変わる町並みと、積み重なる歴史

Ⅲ 相川町家の外観の特徴

1 はじめに

2 町家の高さや屋根

3 軒先の高さ

4 外壁の構成

5 窓（開口）について

6 庇の構成

7 庇の並び方

8 格子の形式

9 むすび

Ⅳ 相川を代表する伝統的町家

1 はじめに

2 相川上町地区の町家

3 相川下町地区の町家

参考文献

資料編

文化的景観「小菅の里」

刊行年月 平成 26 年 3 月

刊 行 飯山市教育委員会

目 次

第Ⅰ部 調査編

第1章 小菅をとりまく環境

第1節 位置と調査範囲

第2節 社会的環境

第3節 自然

第4節 小菅地域の歴史

第5節 小菅の四季と人々の営み

第2章 小菅の文化的景観

第1節 霊場としての小菅

第2節 植生景観

第3節 農業と灌漑から見た小菅

第4節 集落の景観

第5節 災害と景観

第6節 小菅の空間構成

第3章 集落の形成と変遷

第1節 近世小菅の成立：17 世紀の小菅

第2節 近世小菅の展開：8 ～ 19 世紀の

小菅

第3節 信仰と祭礼

第4節 谷の内部の変化と役割分担～霊場から村へ

第5節 農地・山野・水をめぐる営み

第6節 小菅らしさを形成する営み

第4章 小菅の景観認知

第1節 史資料からみる小菅

第2節 住民がみた小菅

第5章 小菅の文化的景観の価値

第1節 文化的景観の本質的価値

第2節 文化的景観を構成する要素

第3節 現在の課題

長良川中流域における岐阜の文化的景観
保存調査報告書

刊行年月 平成 27 年 3 月

刊 行 岐阜市教育委員会

目 次

第1章 調査の概要

第1節 保存調査に至る経緯

第2節 調査の目的

第3節 調査組織

第2章 調査対象地区について

第1節 岐阜市の概要

第2節 調査対象地区の設定

第3節 調査の内容

第3章 長良川

第1節 長良川とその流域の特徴について

第2節 長良川の流路環境

第3節 長良川の自然的特徴

第4節 長良川の自然環境

第5節 長良川における自然環境調査

第6節 各地区の概要

第7節 水運

第8節 水害と治水

第4章 金華山

第1節 長良川周辺の山地

第2節 金華山の自然的特徴

第3節 金華山の自然環境

	第4節	金華山における自然環境調査
	第5節	岐阜城跡
	第6節	絵図に見る金華山の景観認知
	第7節	近代以降の金華山と岐阜公園
	第8節	岐阜城模擬天守について
第5章	都市	
	第1節	通史
	第2節	岐阜城下町の形成
	第3節	戦国城下町岐阜の景観形成と長良川
	第4節	近代の岐阜町
	第5節	近代の岐阜町の発展
	第6節	字絵図の分析
	第7節	近世に由来する自治組織
	第8節	石垣の分析
第6章	岐阜町の伝統的家屋と都市構造	
	第1節	調査の視点と方法
	第2節	伝統的家屋の分布
	第3節	伝統的家屋の建築的特徴
	第4節	生活・生業と伝統的家屋
	第5節	都市構造と伝統的家屋
	第6節	伝統的家屋から見た岐阜町の文化的景観
第7章	生業と文化	
	第1節	長良川の伝統的漁法と歴史的景観
	第2節	長良川鵜飼
	第3節	伝統産業とその製品
	第4節	長良川流域における習俗と信仰
第8章	長良川流域と岐阜市民	
	第1節	歴史資料に見る景観認知
	第2節	現代の景観認知
	第3節	長良川流域における市民活動
	第4節	まちづくり等の行政の取り組み状況
第9章	岐阜市の文化的景観の価値	
	第1節	地域・歴史・文化の概要
	第2節	文化的景観の構造
	第3節	文化的景観の普遍的な価値
第10章	文化的景観の保護に向けて	
	第1節	文化的景観を構成する地区
	第2節	文化的景観保存計画策定のための課題整理
	第3節	文化的景観保護のための庁内体制
	第4節	文化的景観保護のための住民との連携

「大溝の水辺景観」保存活用事業報告書

刊行年月	平成27年3月
刊行	高島市
編集	大溝地域の水辺景観保存活用委員会・高島市

目次

第I部	「大溝の水辺景観」保存活用調査報告書
第1章	「大溝の水辺景観」の位置と特性
	1 自然条件と立地条件
	2 景観の特性
第2章	「大溝の水辺景観」の自然的基盤
	1 山の植生と利用
	2 内湖および集落内水路に生息する魚類の特徴
第3章	「大溝の水辺景観」の歴史的変遷
	1 文献資料・絵図資料からみた大溝
	2 古代・中世の大溝
	3 近世の大溝と分家
	4 近代以降の大溝
第4章	「大溝の水辺景観」の集落景観と構造
	1 「大溝の水辺景観」の地理的特質
	2 「大溝の水辺景観」の時代的特質
	3 「大溝の水辺景観」の象徴性
	4 各個解説
	5 棟札等釈文
第5章	城下地の生活文化
	1 水の利用と景観
	2 大溝祭
	3 交通・交易と景観
第6章	内湖の利用と生活
	1 内湖の歴史的利用形態
	2 内湖と地域の生活
第7章	「大溝の水辺景観」の特性と価値
	1 自然的特性
	2 歴史的特性
	3 社会的特性
	4 文化的景観の本質的価値

菅浦の湖岸集落景観保存活用計画報告書

刊行年月 平成 26 年 3 月
刊 行 長浜市教育委員会

目 次

第Ⅰ部 「菅浦の湖岸集落景観」保存調査

第 1 章 位置と環境

1 地理的環境

2 歴史的環境

第 2 章 「菅浦の集落景観」の特性

1 自然的特性

2 歴史的特性

3 集落景観

4 生活と景観

5 生業が作り出す景観

第 3 章 文化的景観の特性と価値

1 文化的景観の特性

2 文化的景観の本質的価値

宮津天橋立の文化的景観 文化的景観調査報告書

刊行年月 平成 26 年 3 月
刊 行 宮津市
編集協力 (株) 地域計画建築研究所
(株) 文化財サービス

目 次

序 章 文化的景観の取り組み

第 1 節 目的と経緯

第 2 節 これまでの経過

第 3 節 本書の構成

第 1 章 宮津市の概要

第 1 節 自然的特徴

第 2 節 歴史的特徴

第 3 節 社会的特徴

第 4 節 宮津の文化的景観

第 2 章 天橋立と文化的景観

第 1 節 天橋立の保護・保全と景観

第 2 節 神話、文学の中の天橋立

第 3 節 絵画と天橋立

第 4 節 日本庭園と天橋立

第 5 節 天橋立の旧跡・名所と景観

第 3 章 府中地区の文化的景観

第 1 節 府中の歴史と景観

第 2 節 府中の交通と往来

第 3 節 府中の社寺と景観

第 4 節 地域社会と農業

第 5 節 溝尻の生業と舟屋集落

第 4 章 文珠地区の文化的景観

第 1 節 原風景とくらし

第 2 節 「九瀬戸」参詣の展開と文珠

第 3 節 智恩寺と文殊信仰

第 4 節 文珠の名所と伝承・芸能・文学

第 5 節 文珠と文学・芸能

第 5 章 宮津地区の文化的景観

第 1 節 「宮津郷」と如願寺川周辺の景観

第 2 節 宮津城と城下町の成立と変遷

第 3 節 城下町の町割り与生活・景観

第 4 節 宮津の建造物の景観

第 5 節 寺町の町並みと景観

第 6 節 文人の往来と交流

第 6 章 景観認知の概要

第 1 節 景観保全に対する住民意識

第 2 節 地域住民が身近に感じる景観 聞き取り調査

第 3 節 現代の来訪者がみた景観

第 7 章 宮津天橋立の文化的景観－その特徴と評価－

第 1 節 天橋立の自然環境

第 2 節 天橋立周辺における視点場と景観

第 3 節 天橋立周辺の歴史的変遷と景観

第 4 節 天橋立周辺の生活・生業と景観

明延鉾山生活文化調査報告書
－明延の文化的景観調査報告書 1－

刊行年月 平成 26 年 3 月
刊 行 養父市教育委員会

目 次

第 1 章 調査の概要

第 1 節 調査の概要

第 2 節 明延地区の概要

第 2 章 生活文化調査報告

第 1 節 フィールドワーク実施報告及び景

	観形成要素調査
第2節	明延商店街に関する聴き取り調査 及び商店街の配置図
第3節	明延の生活文化に関する聴き取り 調査と明延地区の景観認知図
第3章	今後の調査計画
第1節	既刊の報告書類からみた生活文化 の特徴
第2節	今後の明延鉾山生活文化調査の進 め方について（提言）
資料	明延の生活と明延に暮らす人々
展望	明延の産業遺産と文化的景観の活用に向け て

第6章 三角浦の景観特性

三角浦の文化的景観：調査報告書・保存計画書

刊行年月	平成26年3月
刊行	宇城市教育委員会
編集協力	(株) エスティ環境設計研究所

目次

第1章	序
第1節	調査の目的
第2節	三角浦の空間構造
第3節	報告書の構成
第2章	自然的特性
第1節	地形の特性
第2節	瀬戸の特性（海況）
第3節	地質の特性
第4節	瀬戸の生態系（植物・生物）
第3章	三角浦の歴史的特性
第1節	古代から近世
第2節	三角西港建設期
第3節	土地利用の変遷
第4章	三角浦の生活・生業
第1節	第1次産業（農業、漁業）
第2節	第2次産業（石炭等）
第3節	第3次産業（観光、旅館等）
第4節	瀬戸の信仰
第5章	三角西港における建造物・都市計画の特性
第1節	建造物の特性
第2節	都市計画の特性

2 市町村による文化的景観価値調査報告書（補遺）（～平成 25 年 3 月刊行）

※ 文化的景観資料集成第 2 集『文化的景観保存計画の概要（Ⅱ）』所収の「Ⅲ 文化的景観価値調査報告書目次一覧」において遺漏のあった報告書について補遺するものである。

※ 価値調査報告書及び保存計画書が合冊となった報告書については、価値調査報告部分の目次のみ掲載した。

野火止用水・平林寺の文化的景観保存計画	
刊行年月	平成 24 年 3 月
刊 行	新座市・新座市教育委員会

目 次

第 1 章	野火止用水・平林寺の文化的景観の保存に向けて
1	野火止用水・平林寺の文化的景観保存計画の目的
2	文化的景観重要地域に選択された経緯
3	計画策定の経過
4	新座市の概要
第 2 章	野火止用水・平林寺の文化的景観の捉え方
1	歴史の視点
2	自然の視点
3	かつての暮らしと野火止用水
4	現在の野火止用水・平林寺
5	野火止用水・平林寺の文化的景観の捉え方
第 3 章	野火止用水・平林寺の文化的景観の範囲
1	地域ごとの景観特性
2	文化的景観を構成する主要な構成要素
3	野火止用水・平林寺の文化的景観の範囲

長崎市外海の石積集落景観保存調査報告書	
刊行年月	平成 25 年 3 月
刊 行	長崎市

目 次

第 1 章	序
1	調査の目的
2	文化的景観保存調査の対象範囲

第 2 章	自然的特性
1	地形
2	地質
3	気象
4	植生
第 3 章	歴史的特性
1	歴史の変遷
2	外海地域におけるキリスト教の歴史
第 4 章	土地利用の変遷
1	絵図に基づく土地利用等の分析
2	風景画と古写真に関する土地利用等の分析
第 5 章	社会的特性
1	近世の社会
2	近代の社会
3	外海地域における生業の変遷とその価値
4	外海における社会組織
第 6 章	外海の石積文化
1	はじめに
2	史料に見る石積
3	西彼杵半島の石積
4	練堀建物
5	ド・ロ神父の活動に見る石積み
6	石積の技術と担い手
7	まとめ
第 7 章	景観構造
1	調査の概要
2	広域の景観構造
3	集落の景観
4	まとめ
第 8 章	文化的景観の本質的価値

長崎市外海の石積集落景観調査報告書 資料編

刊行年月	平成 25 年 3 月
刊 行	長崎市

目 次

I 社会的特性の関係資料

- 1 出津地区の民俗
- 2 周辺地区の民俗
- 3 出津地区とその周辺の民俗の特徴

II 外海の石積文化の関係資料

- 1 石垣調査
- 2 石積みと土地利用との関係性
- 3 代表的石積み事例における3次元測量調査
- 4 ネリベイ建物調査
- 5 ネリベイ建物の目地材の成分分析
- 6 墓地および墓石調査

III 景観構造の関係資料

- 1 住民アンケート調査
- 2 来訪者アンケート調査
- 3 地域座談会